



# 笑顔とあいがとうがあふれるわが母校 幡羅小学校 をよろしくおねがいします！



幡羅小学校 校長 嘉藤 央(かとう なかば)

明治18年8月に「原の郷小学校」と「東方小学校」の2校が合併し、生まれた本校「深谷市立幡羅小学校」は、開校141年目を迎えた、長い歴史を有する、地域に愛される小学校です。


希望に満ちた令和8年度は、新1年生69名を迎え、全校児童461名でスタートしました。

子供たちは、新しい1年への希望を胸に、保護者の皆さん、そして地域の皆さんは子供たちの健やかな成長を想い、教職員はその期待に応える決意とともに、新しいスタートを切ります。学校にかかわるすべての人たち、一人一人を大切に  
する学校づくりができるように、校長として、笑顔と熱意とともに、全力で取り組みます。

さて、幡羅小学校に校長として着任するにあたり、「みどりみどり♪」から始まる、幡羅小学校校歌の歌詞を覚えたくて、その意味をじっくり考えてみました。

そこで、1番の最後は「みどりの母校♪」、2番は「ちからの母校♪」、3番は「ひかりの母校♪」となっていることが、強く心に引っ掛かりました。（開校141年目の幡羅小学校です。保護者の皆さん、地域の皆さんの中にも、校歌の歌詞は覚えている方が数多くいらっしゃると思います！）歌詞の『母校』という言葉から、幡羅小学校が子供たち、卒業生にとって、忘れられない、大人になっても戻ってきたくくなるような、『ふるさと』のような『母校』になって欲しいという、素敵な想いを感じられました。（どう思いますか？）

<p>三 ひかり かがやくひかり あらしに負けず さあ 今日も 進んでいこう</p> <p>幡羅 小学深谷 幡羅</p>	<p>二 ちから 仲よくみんな 正しく強く 元氣いっぱい さあ 今日も きたえよう</p> <p>幡羅 小学深谷 幡羅</p>	<p>一 みどりの みわたすかぎりの みどりの心 いつもさわやか さあ 今日も 学んでいこう</p> <p>幡羅 小学深谷 幡羅</p>	<p>幡羅 小学校校歌</p> <p>詞 神保幸太郎 曲 諸井 三郎</p>
--	---	--	--



懐かしいですか？  
素敵な歌詞です！

幡羅小学校が、子供たちにとって、今も、将来（未来）においても、大切にしたい『わが母校』になりますように、保護者の皆さん、地域の皆さん、ぜひ、ご協力をお願いいたします！